

宮城教育大学防災教育研修機構における「防災のための環境教育」の教材開発と実践支援

キーワード 防災、環境、SDGs、地域、世界

活動の目的・目標

1. 児童生徒が地域の「防災のための環境教育」を学ぶ
2. 教員が地域の「防災のための環境教育」の授業実践を開発する
3. 教員になる大学生・大学院生が「防災のための環境教育」の実践を学ぶ

活動の対象者

小中学校の児童生徒、教員、教員を目指す大学生・大学院生

活動内容

宮城教育大学では、2011年の3月11日の東日本大震災発生に伴い「災害対策本部」を設置した。その3か月後の6月28日に、東北地方の被災地の復興に教育面から貢献するため「教育復興支援センター」を設置した。「教育復興支援センター」では、全国の大学や関係者のご支援をいただきながら2019年までの間で約1万人の学生を被災地の学習支援のために派遣した。地域の教育的復興の支援に役立つことができただけでなく、学生の教員としての資質の形成に大きな成果がみられた。そこでこの経験をもとに、文部科学省組織整備概算要求（運営費交付金）を受け、2019年の4月1日に「防災教育研修機構」を設置した。

「防災教育研修機構」では、東日本大震災の経験に立脚しながら、防災教育を担う教員の資質能力の育成に力を注いでいる。具体的には、外部機関と連携しながら、教員養成カリキュラムにおける防災教育の展開、学生対象の自主的な防災教育学習の推進(311ゼミナール)、学校教員対象の研修の実施(311被災地視察研修)、そして防災教育の教材開発を実施している。



(学生による防災教育の学び 311ゼミナール)

2023年には、教材開発の一環として、仙台市まちづくり政策局防災環境都市推進室による『防災環境都市・仙台』の作成に協力した。仙台市は、豊かな自然と住民の生活が調和しているまちとして、「杜の都」と呼ばれている。

「杜」とは、自然の森という意味だけではなく、人の手が加わり形作られてきたという意味で使われます。自然との共生を大切にする気持ちが、「杜の都」と呼ばれる仙台の土台を作り上げてきた。WEB読本は、仙台市の「杜の都」としての成り立ちや東日本大震災以前からの災害に対する備えについて学びながら、世界に向けて発信している都市の特徴としての「防災環境都市・仙台」について、知ることのできるテキストである。

活動内容

児童生徒は、WEB読本を活用しながら、調べたり考えたりして、学習を深めることができる。用語や「参考リンク」は、選択すると関連するホームページにジャンプすることができる。地域や世界のために、自分ができることを考えたりするためのヒントも書かれている。また、教員にむけてWEB読本を活用した指導事例（仙台市立学校向け）を募集している。これは『「防災環境都市・仙台」WEB読本』を活用して実践した取組を広く募集し、公開、共有することにより、教育実践の参考とするともに、仙台市の学校の優れた取組に対する認知度を高めていくことを目的としている。



(左) 【防災環境都市・仙台フロントページ】
 (中) 【SDGsに記載された国連仙台防災枠組み】
 (右) 【学校の取組事例】

活動の特徴

1. 教材を学校の授業で副教材として活用できる。
2. 教材を通して、児童生徒が、関連する事柄を自分で調べたり、地域や世界のために、自分ができることを考えたりすることができる。
3. 教員はWEB読本を活用した指導事例を実践し応募することで、評価を受けることができる。

参加者の声・感想

大学の授業の中で『「防災環境都市・仙台」WEB読本』を活用して実践する授業実践について考えた。以下がその内容である。

「①中学校の社会科の授業で仙台の防災への取組を調べる。その際にWEB読本から情報を得る。次に②WEB読本10頁に『仙台市長が国連で仙台市の防災の取組についてスピーチした』とあることから、生徒が仙台市は防災や環境のために何ができるかについて英語で考えて原稿をつくりスピーチする。」(宮城教育大学学生)

参考情報

「防災環境都市・仙台」WEB読本
https://sendai-resilience.jp/efforts/government/human/web_reader.html

宮城教育大学防災教育研修機構 (311いのちを守る教育研修機構)
<https://bousai-miyagi.sub.jp/bousai-kyoiku/>

日本 5	宮城教育大学防災教育研修機構
団体・組織情報	<p>【団体・組織名】 宮城教育大学防災教育研修機構</p> <p>【設立年】 2019年</p> <p>【所在地】 〒9800845 仙台市青葉区荒巻字青葉 宮城教育大学</p> <p>【団体概要】</p> <p>2019年4月に設置された宮城教育大学防災教育研修機構は、学内外の防災教育・研修の拠点として活動している。機構長 佐々木利佳子（連携担当理事／副学長）、副機構長 市瀬智紀（教授）、特任教授1名、教員8名、客員教員4名で構成している。</p> <p>また以下の外部機関と連携している。</p> <p>アジア工科大学院防災減災管理プログラム（タイ王国）、東北大学災害科学国際研究所、国土交通省東北地方整備局、仙台市・仙台市教育委員会、国立研究開発法人 防災科学技術研究所 災害過程研究部門、南あわじ市（兵庫県）</p> <p>【URL】 https://bousai-miyagi.sub.jp/bousai-kyoiku/</p>

担当者情報	<p>【担当者名】 市瀬智紀</p> <p>【所属】 宮城教育大学防災教育研修機構</p> <p>【Eメール】 ichinose@staff.miyakyo-u.ac.jp</p> <p>【電話番号】 022-214-3381</p>
-------	---